DEH-560
DEH-460

CD/USB/チューナー・WMA/MP3/WAV 対応メインユニット

取扱説明書

目次 4 ページ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意 この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

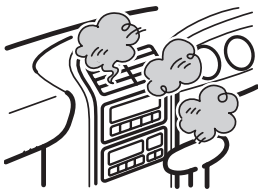
安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）

警告

[異常時の処置]

故障のまま使用しない

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起こりましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

[使用方法]

運転中に操作をしない

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

目 次

安全のために必ずお守りください

絵表示について　2
安全上のご注意　3

はじめに

USB機器の接続……6
iPodの接続……6
バッテリー上がりを防ぐために……6
フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた……6
各部のなまえ……8

ここだけ読めばすぐ使えます

基本的な操作……10
電源 ON・OFF
ソース切り換え
音量調節
CDのふだんの操作……10
CD を再生する
フォルダーを選ぶ
曲を選ぶ
早送り・早戻し
CD を取り出す
ラジオのふだんの操作……11
バンドを選ぶ
放送局を選ぶ
USB機器のふだんの操作……12
USB 機器の曲を再生する
フォルダーを選ぶ　曲を選ぶ
早送り・早戻し
iPodのふだんの操作……13
iPod の曲を再生する
曲を選ぶ　早送り・早戻し
よく使う機能をボタンですぐに操作する……14

CDを聞く

ファンクションメニューの切り換えかた……15
繰り返し再生する……15
違う曲順で再生する……16
再生を一時停止する……16
音を補正して高音質化する……16
タイトルやアーティスト名を表示する…17
タイトルから曲やフォルダーをさがす…18

ラジオを聞く

ファンクションメニューの切り換えかた……19
複数の放送局を自動的に登録する…19
放送局を1局ずつ登録する……19
登録した放送局を呼び出す……20

USB機器を聞く

ファンクションメニューの切り換えかた……21
タイトルやアーティスト名を表示する…21
タイトルから曲やフォルダーをさがす…21

iPodを聞く

聞きたい曲をさがす……22
タイトルやアーティスト名を表示する……23
iPodで選曲して本機から再生する……23
ファンクションメニューの切り換えかた……24
違う曲順で再生する……25
すべての曲をシャッフルしてから再生する……25
再生中の曲にリンクした曲を再生する……25
オーディオブックの再生速度を変更する……26

音を調節する

オーディオ調節メニューの切り換えかた……27
前後左右の音量バランスを調節する…27
イコライザーカーブを選択する……28
イコライザーカーブを調節する……28
小さな音量でも聞きやすくする……29
サブウーファーのON ／ OFFと位相切り換え (DEH-560のみ)…29
サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節(DEH-560のみ)……30
各ソースの音量をそろえる……30

初期設定を変更する

初期設定メニューの切り換えかた …31
時計を合わせる ……………………………31
外部機器（AUX）の音声を
聞けるようにする……………………31
USB/iPodソースの切り換え
方法を設定する………………………32
RCA出力から出力される
信号を選ぶ（DEH-560のみ）…32
スクロールの設定を切り換える …32

便利な機能

交通情報を受信する……………………34
時計を表示する …………………………34
イルミネーションカラーを選ぶ
（DEH-560のみ）……………………34
イルミネーションカラーを
調節する（DEH-560のみ）……35

取り付けの準備

接続・取り付け部品を確認する ……36
取り付けの前に知ってほしいこと…36
接続の前に知ってほしいこと ………37

接続・取り付けと動作確認

接続する…………………………………38
本体を取り付ける………………………40
動作を確認する …………………………41

付録

CDの正しい使いかた …………………42
WMA ／ MP3 ／ WAV
ファイルについて……………………43
ディスク内のフォルダーについて…44
USB機器について ………………………45
USB機器内のフォルダーについて …45
iPodについて ……………………………46
故障かな？と思ったら…………………47
こんなメッセージが表示されたら…48
保証書とアフターサービス …………50
商標・著作権など………………………50
おもな仕様 ………………………………52

USB 機器の接続

対応する USB 機器や接続時のご注意については（➡「USB 機器について」45 ページ、「おもな仕様」52 ページ）。

ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときに USB 機器のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。
- USB 機器を本機に接続する際は、USB ケーブル（例：CD-U51E）を使用してください。USB ケーブルを使わずに直接接続すると、USB 機器が突起物となり危険です。
  指定の USB ケーブル以外は、使用しないでください。

iPod の接続

本機は、iPod を本機の USB ポートに接続して操作できます。メインユニット側からの操作はもちろん、「コントロールモード」によって iPod 側からの操作が可能です。スムーズな選曲が実現できます。対応する iPod や接続時のご注意については（➡「iPod について」46 ページ）。

メモ

- 本書では便宜上、iPod、iPhone を iPod と表記しています。

ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。
また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON（または ACC）にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。

ご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調整などの設定内容は消去されてしまいます。
  ラジオのプリセットメモリーは（➡「放送局を 1 局ずつ登録する」19 ページ）、時計調整は（➡「時計を合わせる」31 ページ）を参照して、再設定してください。オーディオ調整の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。
  再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

盗難抑制のため、フロントパネルを取り外すことができます（デタッチャブル機構）。

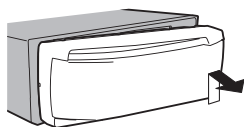
フロントパネルの取り扱い上のご注意

- フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。
- 取り外し、取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。
- 落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障することがあります。
- 分解しないでください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- 汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。その場合に、フロントパネルおよび本体の端子部をさわらないようにしてください。接触不良の原因となることがあります。
- フロントパネルのデタッチを行うときは、フロントパネルから AUX ケーブルを取り外してください。取り外さなかった場合は、機器や車両の備品が破損するおそれがあります。
- 安全上、フロントパネルを外す時は車を停車してください。

フロントパネルの取り外しかた

1 デタッチボタンを押して、ロックを解除する

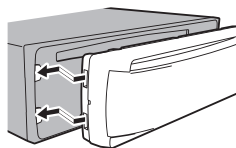
2 フロントパネルの右側を上げ手前に引いて取り外す

フロントパネルが外れます

3 フロントパネルを保管する

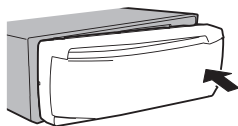
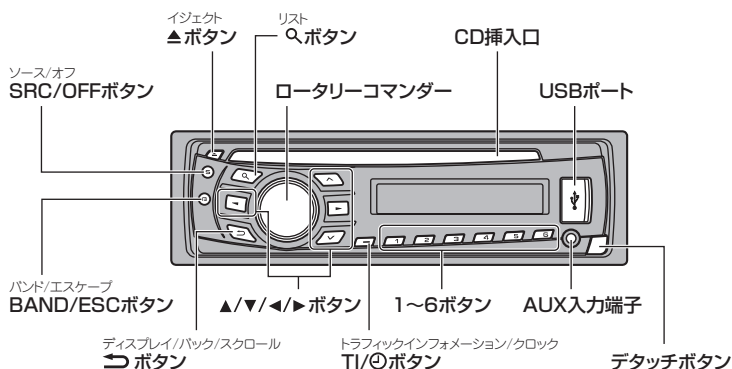
取り外したフロントパネルは、ケースなどに入れて保管してください

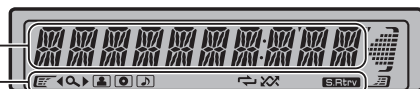
フロントパネルの取り付けかた

1 フロントパネルの左側を本体にあわせる

フロントパネルを本体の左側に確実に合わせてください

2 フロントパネルの右側を押して、本体に取り付ける

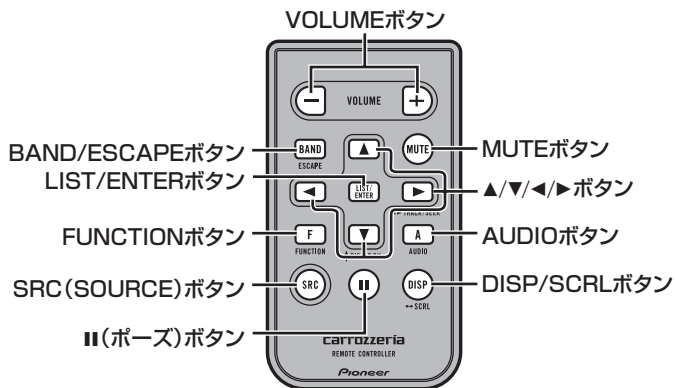
各部のなまえ

本体

ディスプレイ

メイン表示部
ソースやメディア・圧縮フォーマットなどによって、異なる情報を表示します。
ラジオ：バンドと周波数
オーディオCD：トラック番号と再生経過時間
WMA／MP3／WAV：フォルダー番号、トラック番号と再生経過時間
ファンクション／オーディオ／初期設定：各種の設定内容

インジケーター表示部
ソースやメディア・圧縮フォーマットなどによって、異なるインジケーターを表示します。

	表示されている文字列が、トラックアーティスト名のときに点灯します。 また、iPodでブラウズ中に、アーティストで絞り込んだときに点灯します。
	表示されている文字列が、アルバムタイトルのときに点灯します。 また、iPodでブラウズ中に、アルバムで絞り込んだときに点灯します。
	表示されている文字列が、トラックタイトルのときに点灯します。 また、iPodでブラウズ中に、曲で絞り込んだときに点灯します。
▶	メニューおよびリストを表示していて、下の階層がある場合に点灯します。 iPodソース中、次に再生される曲がリンクプレイで選択されているときに点滅します。
	リストを表示しているときに、点灯します。
◀	メニューおよびリストを表示していて、上の階層がある場合に点灯します。
	リピート再生時に点灯します。
	ランダム再生時に点灯します。 iPodでシャッフルプレイまたは全曲シャッフルをしているときに点灯します。
S.Rtrv	サウンドレトリバーの設定がONのときに点灯します。

別売のリモコン「CD-R500」について

別売のリモコン「CD-R500」で、本機を操作できます。
リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。

基本的な操作

電源 ON・OFF　ソース切り換え　音量調節

1 SRC/OFFを押して、電源をONにする

本機の電源が ON になります。

2 SRC/OFFを押して、ソースを切り換える

押すごとに次のように切り換わります。

ソースとは

●SRC/OFF を押すと切り換わる、CD やラジオなどの音源のことです。

3 音量を調節する

ロータリーコマンダーを回す。

大きくするとき：右に回す
小さくするとき：左に回す

約 4 秒間、音量が表示されます。

4 SRC/OFFを長く押して、電源をOFFにする

電源が OFF になります。

メモ

●音量の調節範囲は 0 ～ 62 です。
●次の場合にも、電源が ON になります。
・ディスクを挿入口に差し込んだとき
・USB/iPod ソース自動切り換え設定が ON の場合に、USB や iPod を接続したとき（➡「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」32 ページ）
●次の場合、該当のソースには切り換わりません。
・対応する機器を接続していない
・ディスクをセットしていない
・AUX ソースを OFF にしている（➡「外部機器（AUX）の音声を聞けるようにする」31 ページ）

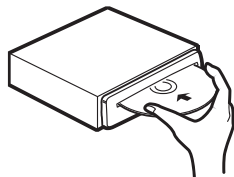
●AUX は初期設定では ON に設定されています。使用しない場合は OFF に設定してください（➡「外部機器（AUX）の音声を聞けるようにする」31 ページ）。
●本機の青リード線（アンテナコントロール）に車側のアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにするとアンテナブースターの電源が ON になります。
●ディスクをセットしたまま電源を OFF にすることもできます。
●時計を表示させている場合、電源を OFF にしても時計は表示されます。

CD のふだんの操作

CD を再生する　フォルダーを選ぶ　曲を選ぶ　早送り・早戻し　CD を取り出す

画面表示例

1 CD を挿入口に差し込む

再生が始まります。

2 ▲ または ▼ ボタンを押して、フォルダーを選ぶ

圧縮オーディオ再生時フォルダーが選べます。

次のフォルダーを選ぶ：▲ を押す
前のフォルダーを選ぶ：▼ を押す

3 ◄ または ► ボタンを押して、曲を選ぶ

次の曲を選ぶ：► を押す
前の曲を選ぶ：◄ を押す

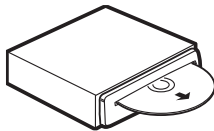
4 ◀または▶ボタンを押し続けて、早送り／早戻しする

早送り：▶ を長く押す
早戻し：◀ を長く押す

5 ほかのソースに切り換える。または、電源をOFFにする

再生が終わります。

6 ▲ を押す

CD が出てきます。

知っていると便利

- 圧縮オーディオ再生時は、BAND/ESC を長く押すと、フォルダー 01（ROOT）に戻ります。ただし、フォルダー 01（ROOT）にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- ディスクをセットしたまま、電源を OFF にしたりほかのソースに切り換えたりすることができます。
- 圧縮オーディオファイルと音楽データが混在しているディスクの場合、再生を切り換えることができます。切り換えるときは、BAND/ESC を押します。再生は、いちばん先頭の曲から始まります。

ご注意

- ディスクはタイトル面を上にして差し込みます。
- CD 挿入口には、CD 以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクを挿入すると、本機はディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面にはFRMT READと表示されます。
- 8 cmディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した 8 cm ディスクも絶対に使用しないでください。
- 圧縮オーディオファイルを早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR（可変ビットレート）で録音されたファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- 出てきた CD はすぐに取り出して保管してください。CD 挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。
- ▲ を押して CD 再生をやめたときは、自動的に電源 OFF になります。

ラジオのふだんの操作

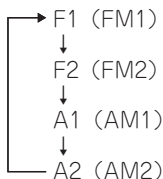
バンドを選ぶ　放送局を選ぶ

画面表示例

1 SRC/OFFを押して、ソースをTUNERに切り換える

2 BAND/ESCを押して、バンドを選ぶ

押すたびに次の順序で切り換わります。

F1（FM1）
↓
F2（FM2）
↓
A1（AM1）
↓
A2（AM2）
（A2 から F1 に戻ります）

3 ▲または▼ボタンを押して、プリセット番号順に受信する

➡「登録した放送局を呼び出す」20ページ

次のプリセットチャンネルを選ぶ
：▲ を押す
前のプリセットチャンネルを選ぶ
：▼ を押す

4 ◀または▶ボタンを押して、放送局を選ぶ（手動選局）

高い周波数の放送局を選ぶ：▶ を押す
低い周波数の放送局を選ぶ：◀ を押す

5 ◀または▶ボタンを押し続けて離し、放送局を自動で選ぶ（自動選局）

高い周波数の放送局を自動で選ぶ
：▶ を長く押して離す
低い周波数の放送局を自動で選ぶ
：◀ を長く押して離す

6 ほかのソースに切り換える。または、電源をOFFにする

ラジオの受信が終わります。

知っていると便利

- バンドごとに放送局を 6 局ずつ登録できます（➡ 19 ページ）。
- ◀ または ▶ ボタンを押している間、途中の放送局を飛ばすことができます。離したところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。

USB 機器のふだんの操作

USB 機器の曲を再生する　フォルダーを選ぶ　曲を選ぶ　早送り・早戻し

画面表示例

T-001 00'12"

1 USBポートのカバーを開けて、USB機器を接続する。または、USBソースに切り換える

再生が始まります。

2 ▲ または ▼ ボタンを押して、フォルダーを選ぶ

次のフォルダーを選ぶ：▲ を押す
前のフォルダーを選ぶ：▼ を押す

3 ◀ または ▶ ボタンを押して、曲を選ぶ

次の曲を選ぶ：▶ を押す
前の曲を選ぶ：◀ を押す

4 ◀ または ▶ ボタンを押し続けて、早送り／早戻しする

早送り：▶ を長く押す
早戻し：◀ を長く押す

5 USB機器を外す。ほかのソースに切り換える。または、電源をOFFにする

USB の再生が終わります。

ご注意

- USB 機器を本機に接続する際は、USB ケーブル（例：CD-U51E）を使用してください。USB ケーブルを使わずに直接接続すると、USB 機器が突起物となり危険です。
  指定の USB ケーブル以外は、使用しないでください。
- 対応するUSB機器をご使用ください。ただし、対応する USB 機器でも正しく動作しない場合があります（➡「USB 機器について」45 ページ）。
- USB 機器を使用するときのご注意については、➡「USB 機器について」45 ページ。
- USB/iPod ソース自動切り換え設定が ON の場合、USB 機器によっては、接続したままエンジンを OFF から ON にしたとき、意図せずに USB ソースに切り換わることがあります。必要に応じて設定を切り換えてください（➡「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」32 ページ）。
- 早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。

メモ

- USB 機器を接続したまま、電源を OFF にしたりほかのソースに切り換えることができます。
- USB 機器は、いつでも本機から取り外すことができます。
- BAND/ESC を長く押すと、フォルダー 01（ROOT）に戻ります。ただし、フォルダー 01（ROOT）にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- USB 機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチが ACC または ON になっているときに USB 機器のバッテリーが充電されます。
- USB ソースでは、接続した USB 機器の情報を読みとる間、FRMT READ と表示されます。USB 機器の情報を読みとるため、再生までに時間がかかります。

iPod のふだんの操作

iPod の曲を再生する　曲を選ぶ 早送り・早戻し

iPod Dock コネクタ（USB2.0 ケーブル用）を使用して iPod を本機に接続をして操作できます。

画面表示例

123/256　S.Rtrv

1 USBポートのカバーを開けて、iPodを接続する。または、iPodソースに切り換える

再生が始まります。

2 ◄ または ► ボタンを押して、曲を選ぶ

次の曲を選ぶ： ► を押す
前の曲を選ぶ： ◄ を押す

3 ◄ または ► ボタンを押し続けて、早送り／早戻しする

早送り： ► を長く押す
早戻し： ◄ を長く押す

4 iPodを外す。ほかのソースに切り換える。または、電源をOFFにする

iPod の再生が終わります。

ご注意

- iPhone/iPod touch 以外では、再生範囲が 1 曲リピートのときは、 ◄ または ► ボタンを押して曲を選ぶことはできません。
- iPod には iPod 用 USB 変換ケーブルのみを接続してください。iPod 用 USB 変換ケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機に接続する前に、iPod からヘッドホンを外してください。
- iPod を使用するときのご注意や iPod の設定については ➡「iPod について」46 ページ。

メモ

- 再生しているオーディオブック、Podcast やビデオファイル（CTRL モード中）などにチャプターがある場合、 ◄ または ► ボタンを押して、チャプターが選べます。
  - ・次のチャプターを選ぶ： ► を押す
  - ・前のチャプターを選ぶ： ◄ を押す
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPod のバッテリーが充電されます。
- コントロールモードを AUDIO に設定した場合、iPod は本機に接続されている間、iPod 自身で電源を OFF することはできません（➡「iPod で選曲して本機から再生する」23 ページ）。
- エンジンスイッチを OFF にして約 2 分後に、本機に接続されている iPod の電源も OFF になります。

よく使う機能をボタンですぐに操作する

⮌ ボタン

押すたびに、ディスプレイの表示を切り換えることができます。

長く押すと、ディスプレイの表示をスクロールできます。

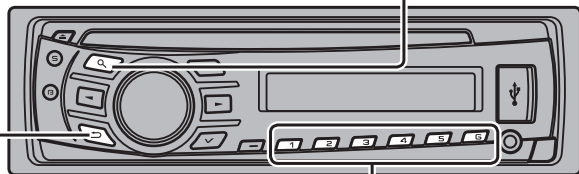
ファンクションメニューやオーディオ調節メニュー、初期設定メニューの表示中に押すと、1 つ上の階層に戻ります。

メモ

●ディスプレイの表示を変えられないソースもあります。

🔍ボタン

押すと、ソースごとに異なるリストが表示されます。

- CD ➡ 18 ページ
- USB ➡ 21 ページ
- iPod ➡ 22 ページ

1/S.Rtrv ボタン

CD、USB/iPod ソースのときに押すと、アドバンスド･サウンドレトリバーの設定を切り換えることができます(➡ 16、21、24 ページ)。

2/PAUSE ボタン

CD、USB/iPod ソースのときに押すと、再生を一時停止できます
(➡ 16、21、24 ページ)。

4/iPod ボタン

iPod ソースのときに押すと、コントロールモードの設定が切り換わります(➡ 23 ～ 24 ページ)。

5/ （ランダム）ボタン

CD、USB ソースのときに押すと、ランダムプレイを ON ／ OFF できます(➡ 16、21 ページ)。
iPod ソースのときに押すと、全曲シャッフル再生します(➡ 25 ページ)。
CTRL を iPod または APP に切り換えたときは、シャッフル再生します(➡ 25 ページ)。

6/ （リピート）ボタン

CD、USB/iPod ソースのときに押すと、再生範囲の設定を切り換えることができます（➡ 15、21、24 ページ)。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能は、ファンクションメニューで選んで操作します。

1 SRC/OFFを押して、ソースをCDにする

➡「基本的な操作」10 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、メインメニューを表示する

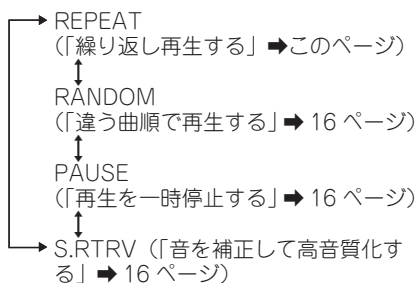
3 ロータリーコマンダーを回して、FUNCTIONを選ぶ

4 ロータリーコマンダーを押して、ファンクションメニューを表示する

5 ロータリーコマンダーを回して、機能を切り換える

次の順序で切り換わります。

REPEAT
（「繰り返し再生する」➡このページ）
↕
RANDOM
（「違う曲順で再生する」➡ 16 ページ）
↕
PAUSE
（「再生を一時停止する」➡ 16 ページ）
↕
S.RTRV（「音を補正して高音質化する」➡ 16 ページ）

メモ

- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC を押します（30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります）。

繰り返し再生する

REPEAT

曲を繰り返し（リピート）再生できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲やディスク全体などから選べます。選べる範囲はディスクによって異なります。

1 ロータリーコマンダーを操作して、REPEATに切り換える

➡「ファンクションメニューの切り換えかた」このページ

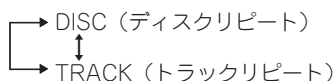
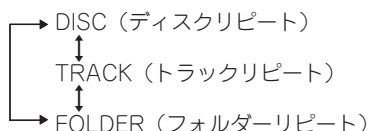
2 ロータリーコマンダーを押して、REPEATを選ぶ

現在の再生範囲が表示されます。

3 ロータリーコマンダーを回して、再生範囲を切り換える

次の順序で切り換わります。

■ CD を再生しているとき

DISC（ディスクリピート）
↕
TRACK（トラックリピート）

■ WMA ／ MP3 ／ WAV を再生しているとき

DISC：ディスクを通して再生
TRACK：再生中の曲を繰り返し再生
FOLDER：再生中のフォルダーを繰り返し再生

4 ロータリーコマンダーを押して、設定を決定する

メモ

- ロータリーコマンダーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

メモ

- 再生範囲は、6/ ⇄でも切り換えられます（➡「よく使う機能をボタンですぐに操作する」14 ページ）。
- 選んだ再生範囲は、ランダムプレイの再生範囲に影響します。
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲だけを再生します。サブフォルダー内の曲は再生しません。

違う曲順で再生する

RANDOM

曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダムプレイする範囲を選んでおく

ランダムプレイは、REPEAT で選んだ範囲で行われます（➡「繰り返し再生する」15 ページ）。

2 ロータリーコマンダーを操作して、RANDOMを選ぶ

➡「ファンクションメニューの切り換えかた」15 ページ

3 ロータリーコマンダーを押して、ランダムプレイ設定をONにする

次の曲から、ランダムに再生されます。もう一度押すと、OFF になります。

4 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定を ON にすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。
  - ・CD：ディスクリピート
  - ・圧縮オーディオ：フォルダーリピート
- ランダムプレイは、5/ ⤨でも操作できます（➡「よく使う機能をボタンですぐに操作する」14 ページ）。

再生を一時停止する

PAUSE

曲の再生を一時停止できます。

1 ロータリーコマンダーを操作して、PAUSEを選ぶ

➡「ファンクションメニューの切り換えかた」15 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、再生を一時停止する

もう一度押すと、再生を再開します。

3 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

メモ

- ポーズは、2/PAUSE でも操作できます（➡「よく使う機能をボタンですぐに操作する」14 ページ）。

音を補正して高音質化する

S.RTRV

音の密度感や抑揚感を向上させて再生できます。

アドバンスド・サウンドレトリバーとは

- アドバンスド・サウンドレトリバーは、音声の圧縮によって失われた音を補正し、CD に迫る高音質再生を実現します。

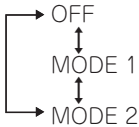
1 ロータリーコマンダーを操作して、S.RTRVに切り換える

➡「ファンクションメニューの切り換えかた」15 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、S.RTRVを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンダーを回して、設定を切り換える

次の順序で切り換わります。

メモ

- MODE 1 は低圧縮率の音声、MODE 2 は高圧縮率の音声に適しています。

4 ロータリーコマンダーを押して、設定を決定する

メモ

- ロータリーコマンダーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

メモ

- アドバンスド・サウンドレトリバーは、1/S.Rtrv でも切り換えられます（➡「よく使う機能をボタンですぐに操作する」14 ページ）。

タイトルやアーティスト名を表示する

「CD TEXT」や圧縮オーディオ再生中に、トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示させることができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見ることもできます。

ご注意

- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

1 SRC/OFFを押して、ソースをCD（USBの場合はUSB）にする

➡「基本的な操作」10 ページ

2 ⮌ を押して、表示を切り換える

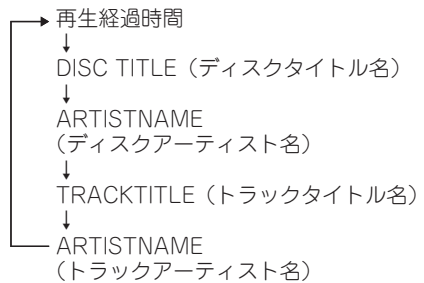
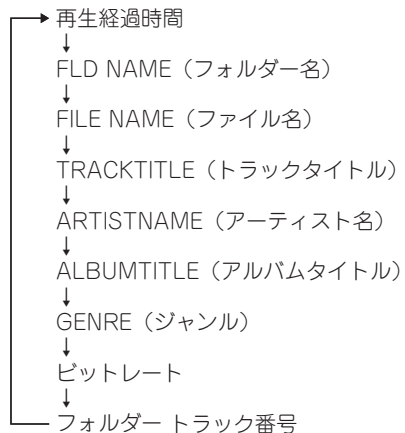
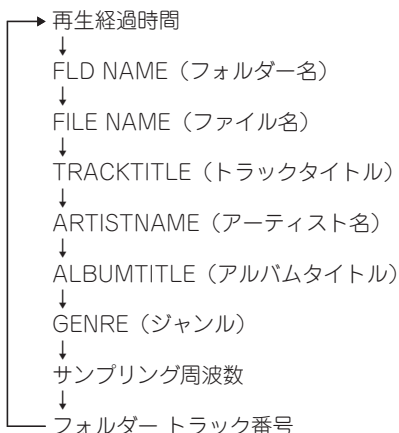
押すたびに次の順序で切り換わります。

■ CD TEXT を再生しているとき

■ WMA ／ MP3 を再生しているとき

再生経過時間
↓
FLD NAME（フォルダー名）
↓
FILE NAME（ファイル名）
↓
TRACKTITLE（トラックタイトル）
↓
ARTISTNAME（アーティスト名）
↓
ALBUMTITLE（アルバムタイトル）
↓
GENRE（ジャンル）
↓
ビットレート
↓
フォルダー トラック番号

■ WAV を再生しているとき

再生経過時間
↓
FLD NAME（フォルダー名）
↓
FILE NAME（ファイル名）
↓
TRACKTITLE（トラックタイトル）
↓
ARTISTNAME（アーティスト名）
↓
ALBUMTITLE（アルバムタイトル）
↓
GENRE（ジャンル）
↓
サンプリング周波数
↓
フォルダー トラック番号

知っていると便利

●隠れている文字を表示させるには、⮌を長く押します。

ご注意

●タイトル名などが収録されていない場合、表示を切り換えると、「NO TITLE」や「NO NAME」などが表示されます。
●ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
●MP3 ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
●「CD TEXT」や WMA ／ MP3 ／ WAV ディスク以外では、タイトルは表示しません。
●Windows Media Player 11 を使用して WAV ファイルをエンコードしたときに、WAV ファイルのファイル名などを表示させることができます。

タイトルから曲やフォルダーをさがす

「CD TEXT」や圧縮オーディオの再生中に、曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧（トラック／ファイル／フォルダーリスト）を見ながら、聞きたい曲、ファイル、フォルダーを選べます。

ご注意

●本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

1 SRC/OFFを押して、ソースをCD（USBの場合はUSB）にする

➡「基本的な操作」10 ページ

2 🔍を押して、トラック／ファイル／フォルダーリストを表示する

3 ロータリーコマンダーを回して、曲名、ファイル名、フォルダー名を切り換える

次の曲／ファイル／フォルダーを選ぶ
：右に回す
前の曲／ファイル／フォルダーを選ぶ
：左に回す

4 フォルダーの表示時に、ロータリーコマンダーを押して、そのフォルダー内のフォルダー／ファイルを表示する

メモ

●フォルダーが表示されているときにロータリーコマンダーを長く押すと、そのフォルダー内のはじめの曲から再生されます。

5 曲やファイルの表示時に、ロータリーコマンダーを押して、再生する

メモ

●▲ または ▼ ボタンを押して、フォルダー名やファイル名を切り換えることもできます。
●再生は、曲やファイルの表示時に ▶ ボタンを押すことでも可能です。
●前のリスト（1 つ上の階層のフォルダー）に戻るには、⮌を押します。この操作は、◀ ボタンを押すことでも可能です。
●最上位の階層に戻るには、⮌を長く押します。
●リスト表示中にふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC または🔍を押します。
●トラック／フォルダー／ファイルリストは、必ず先頭・ROOT から表示されます。
●フォルダー内に再生できるファイルがない場合、「NO FILES」と表示されます。
●フォルダー内に再生できるファイルがない場合、ロータリーコマンダーを押しても再生されません。
●トラック／フォルダー／ファイルリストは、30 秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

ファンクションメニューの切り換えかた

「複数の放送局を自動的に登録する」機能は、ファンクションメニューで選んで操作します。

1 SRC/OFFを押して、ソースをTUNERにする

➡「基本的な操作」10 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、メインメニューを表示する

3 ロータリーコマンダーを回して、FUNCTIONを選ぶ

4 ロータリーコマンダーを押して、ファンクションメニューを表示する

BSM が表示されます。

メモ

- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC を押します（30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります）。

複数の放送局を自動的に登録する

BSM

BSM 機能を使うと、受信状態の良い放送局を自動でさがして登録できます。登録された放送局をかんたんに受信できます。

BSM とは

- BSM は、「Best Stations Memory（ベストステーションズ メモリー）」の略です。

1 SRC/OFFを押して、ソースをTUNERにする

➡「基本的な操作」10 ページ

2 BAND/ESCを押して、登録するバンドを選ぶ

3 ロータリーコマンダーを操作して、BSMにする

➡「ファンクションメニューの切り換えかた」このページ

4 ロータリーコマンダーを押して、BSMによる登録を始める

登録が完了すると、1 の番号に登録された局の放送を受信します。

メモ

- バンドごとに放送局を 6 局ずつ登録できます。
- 登録処理中に TI/◷ボタンを押すと、処理を途中でやめることができます。
- 受信状態の良い放送局が 6 局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。

放送局を 1 局ずつ登録する

1 ～ 6 のボタンを使って、よく聞く放送局を 1 局ずつ手動で登録できます（プリセットメモリー）。登録した放送局をかんたんに受信できます。

1 SRC/OFFを押して、ソースをTUNERにする

➡「基本的な操作」10 ページ

2 BAND/ESCを押して、登録するバンドを選ぶ

3 ◀または▶ボタンを押して、登録する放送局を選ぶ

4 1 ～ 6ボタンの1つを長く押して放送局を登録する

登録処理中にプリセット番号が点滅します。登録が完了すると、プリセット番号の点滅が終わり、その局の放送を受信します。

登録した放送局を呼び出す

BSM やプリセットメモリーで登録した放送局をかんたんに受信できます。

1 SRC/OFFを押して、ソースをTUNERにする

➡「基本的な操作」10 ページ

2 BAND/ESCを押して、バンドを選ぶ

3 1 ～ 6ボタンを押して、登録した放送局を受信する

メモ

● ▲ または ▼ ボタンを押して、順番に受信することもできます（➡「ラジオのふだんの操作」11 ページ）。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 SRC/OFFを押して、ソースをUSBにする

➡「基本的な操作」10 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して､メインメニューを表示する

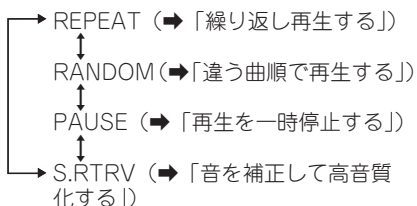
3 ロータリーコマンダーを回して、FUNCTIONを選ぶ

4 ロータリーコマンダーを押して、ファンクションメニューを表示する

5 ロータリーコマンダーを回して、機能を切り換える

次の順序で切り換わります。

REPEAT（➡「繰り返し再生する」）
↕
RANDOM（➡「違う曲順で再生する」）
↕
PAUSE（➡「再生を一時停止する」）
↕
S.RTRV（➡「音を補正して高音質化する」）

メモ

- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC を押します（30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります）。

ファンクションメニューの機能は、CD の場合と基本的に同じです。操作方法については、CD のページをご覧ください。

機 能	操 作
REPEAT	(➡「繰り返し再生する」15 ページ) 切り換わる再生範囲は、CD の場合とは異なります。 オールリピート： すべての曲を繰り返し再生します。 トラックリピート： いま聞いている曲を繰り返し再生します。 フォルダーリピート： いま聞いているフォルダーを繰り返し再生します。
RANDOM	(➡「違う曲順で再生する」16 ページ)
PAUSE	(➡「再生を一時停止する」16 ページ)
S.RTRV	(➡「音を補正して高音質化する」16 ページ)

タイトルやアーティスト名を表示する

トラックタイトルやアーティスト名などを表示できます。また、隠れている文字をスクロールすることもできます。操作方法は、CD の場合と同じです（➡ 17 ページ）。

タイトルから曲やフォルダーをさがす

ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、聞きたいファイルやフォルダーを選べます。操作方法は、CD の場合と同じです（➡ 18 ページ）。

聞きたい曲をさがす

ジャンル、アーティスト、アルバムなどの項目から、お好みの曲を選んで再生できます。

ご注意

- iPod に保存してあるファイルの数によっては、項目の表示に時間がかかる場合があります。
- 本機が表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

1 SRC/OFFを押して、ソースをiPodにする

➡「基本的な操作」10 ページ

2 🔍を押して、ブラウズモードにする

3 ロータリーコマンダーを回して選びたい項目を表示する

次の項目が表示できます。

PLAYLISTS（プレイリスト）
↕
ARTISTS（アーティスト）
↕
ALBUMS（アルバム）
↕
SONGS（曲）
↕
PODCASTS（ポッドキャスト）
↕
GENRES（ジャンル）
↕
COMPOSERS（作曲者）
↕
AUDIOBOOKS（オーディオブック）

4 ロータリーコマンダーを押して、項目を選ぶ

5 手順3、4の操作を繰り返して、項目を絞り込む

6 ロータリーコマンダーを回して、聞きたい曲を表示する

7 ロータリーコマンダーを押して、再生する

メモ

- ▲ または ▼ ボタンを押して、項目を切り換えることもできます。
- ▶ ボタンを押して、項目を選んだり曲を再生したりもできます。
- 前のリスト（1 つ上の階層のフォルダー）に戻るには、⮌を押します。この操作は、◀ ボタンを押すことでも可能です。
- 最上位の階層に戻るには、⮌を長く押します。
- 再生したい項目を表示しているときにロータリーコマンダーを長く押すと、その項目内の曲を最初からすべて再生できます。▶ ボタンを長く押すことでも可能です。
- リスト表示中にふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC を押します（30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります）。

リストをアルファベットで検索する

ご注意

- アルファベット順に表示されるリストのときに操作できます。
- 頭文字が、半角のアルファベット、数字、および記号で記録されているものが対象です。

1 ロータリーコマンダーを操作して、目的の項目を表示する

2 🔍を押して、アルファベットの入力画面を表示する

「SEARCH : A」と表示されます。

3 ロータリーコマンダーを回して、リストの先頭に表示したいアルファベットを選ぶ

4 ロータリーコマンダーを押して、選んだアルファベットから始まるリストを表示する

メモ

- 対象のアルファベットが無い場合は、「NOT FOUND」と表示されます。

タイトルやアーティスト名を表示する

iPod に記録されている曲名やアーティスト名、アルバムタイトルなどを表示させることができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見ることもできます。

ご注意

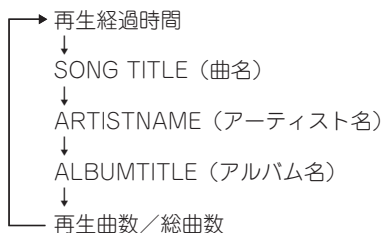
- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

1 SRC/OFFを押して、ソースをiPodにする

➡「基本的な操作」10 ページ

2 ⮌ を押して、表示を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。

再生経過時間
↓
SONG TITLE（曲名）
↓
ARTISTNAME（アーティスト名）
↓
ALBUMTITLE（アルバム名）
↓
再生曲数／総曲数

メモ

- 隠れている文字を表示させるには、⮌ を長く押します。
- 本機で表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

iPod で選曲して本機から再生する

CTRL

選曲などの操作を、本機と iPod のどちらでするか切り換えられます（コントロールモード）。iPod に設定すると、iPod の画面で操作できます。日本語のタイトルも、そのまま見て曲を選べるので便利です。
APP に設定すると、iPod アプリケーションからの音声を本機で再生できます。

ご注意

- 以下の iPod では本機能は使用できません。
  - 第 5 世代 iPod
  - 第 1 世代 iPod nano

  最新の情報については、カロッツェリアホームページ（http://carrozzeria.jp）をご覧ください。
- APP モードに対応している iPod は以下の iPod です。
  - 第 3 世代 iPod touch：Ver. 3.0 以降
  - 第 2 世代 iPod touch：Ver. 3.0 以降
  - 第 1 世代 iPod touch：Ver. 3.0 以降
  - iPhone 3GS：Ver. 3.0 以降
  - iPhone 3G：Ver. 3.0 以降

1 SRC/OFFを押して、ソースをiPodにする

➡「基本的な操作」10 ページ

2 4/iPodを押して、コントロールモードを切り換える

押すごとに iPod、APP と AUDIO が切り換わります。

iPod：
iPod で選曲などの操作をします。

APP：
APP モードに対応している iPod で、iPod アプリケーションからの音声を再生します。

AUDIO：
本機で選曲などの操作をします。

ご注意

- iPod に設定した場合は、以下の制限があります。
  - ーファンクションメニューには切り換わりません。
  - ーブラウズモード（➡「聞きたい曲をさがす」22 ページ）には切り換わりません。
  - ー音量は本機からしか調節できません。
- iPod に設定すると、再生は停止されます。iPod を操作して、再生してください。

メモ

- コントロールモードを iPod/APP に設定していても、本機から次の操作ができます。
  - ー一時停止
  - ー選曲
  - ー早送り／早戻し
  - ーリピート再生（OFF/ONE/ALL）
  - ーランダム（シャッフル）再生
  - ー iPod メニュー（🔍 ボタンを押す）
  - ークリックホール左（▲ ボタンを押す）
  - ークリックホール右（▼ ボタンを押す）

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 SRC/OFFを押して、ソースをiPodにする

➡「基本的な操作」10 ページ

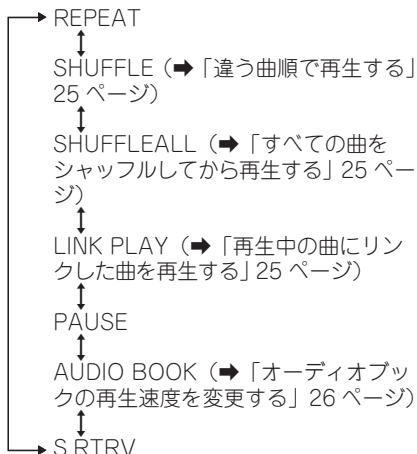
2 ロータリーコマンダーを押して、メインメニューを表示する

3 ロータリーコマンダーを回して、FUNCTIONを選ぶ

4 ロータリーコマンダーを押して、ファンクションメニューを表示する

5 ロータリーコマンダーを回して、機能を切り換える

次の順序で切り換わります。

REPEAT
↕
SHUFFLE（➡「違う曲順で再生する」25 ページ）
↕
SHUFFLEALL（➡「すべての曲をシャッフルしてから再生する」25 ページ）
↕
LINK PLAY（➡「再生中の曲にリンクした曲を再生する」25 ページ）
↕
PAUSE
↕
AUDIO BOOK（➡「オーディオブックの再生速度を変更する」26 ページ）
↕
S.RTRV

メモ

- CTRL を iPod/APP に設定しているときは、ファンクションメニューに切り換えられません。
- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC を押します（30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります）。

ファンクションメニューの以下の機能は、CD の場合と基本的に同じです。操作方法については、CD のページをご覧ください。

機　能	操　作
REPEAT	（➡「繰り返し再生する」15 ページ） 切り換わる再生範囲は、CD の場合とは異なります。 ONE（1 曲リピート）↕ ALL（リスト内全曲リピート） 1 曲リピート： いま聞いている曲を繰り返し再生します。 リスト内全曲リピート： いま聞いているリスト内のすべての曲を繰り返し再生します。
PAUSE	（➡「再生を一時停止する」16 ページ）
S.RTRV	（➡「音を補正して高音質化する」16 ページ）

違う曲順で再生する

SHUFFLE

曲やアルバムを順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

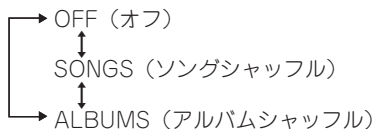
1 ロータリーコマンダーを操作して、SHUFFLEに切り換える

➡「ファンクションメニューの切り換えかた」24 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、SHUFFLEを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンダーを回して、シャッフルの種類を切り換える

次の順序で切り換わります。

OFF（オフ）
↕
SONGS（ソングシャッフル）
↕
ALBUMS（アルバムシャッフル）

4 ロータリーコマンダーを押して、設定を決定する

メモ

- ロータリーコマンダーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

すべての曲をシャッフルしてから再生する

SHUFFLEALL

iPod のミュージックライブラリ内のすべての曲を順不同（ランダム）に再生できます。

1 ロータリーコマンダーを操作して、SHUFFLEALLに切り換える

➡「ファンクションメニューの切り換えかた」24 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、全曲シャッフルする

再生が始まり、ふだんの再生画面に戻ります。

メモ

- 全曲シャッフルを解除するには、SHUFFLE で OFF を選びます（➡「違う曲順で再生する」このページ）。
- 全曲シャッフルは、5/ 🔀でも開始できます（➡「よく使う機能をボタンですぐに操作する」14 ページ）。

再生中の曲にリンクした曲を再生する

LINK PLAY

再生中の曲にリンクしたリストの曲を再生します。現在の曲の再生が終わると、リンクした曲に切り換わります。再生できるのは次のリストです。

・再生中のアーティストのアルバムリスト
・再生中のアルバムに収録されている曲のリスト
・再生中のジャンルのアルバムリスト

ご注意

- リンクのサーチ条件に関連したリストがない場合は、「NOT FOUND」と表示されます。
- 曲によっては、切り換わる際に終わりや始まりの音が切れる場合があります。

1 ロータリーコマンダーを操作して、LINK PLAYに切り換える

➡「ファンクションメニューの切り換えかた」24ページ

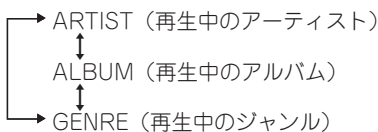
2 ロータリーコマンダーを押して、LINK PLAYを選ぶ

メモ

●リンクプレイには、ふだんの再生画面でロータリーコマンダーを長く押しても切り換わります。

3 ロータリーコマンダーを回して、リンクのサーチ条件を切り換える

次の順序で切り換わります。

ARTIST（再生中のアーティスト）
↕
ALBUM（再生中のアルバム）
↕
GENRE（再生中のジャンル）

アーティスト：再生中のアーティストの曲
アルバム：再生中のアルバムに収録されている曲
ジャンル：再生中のジャンルの曲

4 ロータリーコマンダーを押して、リンクのサーチ条件を選ぶ

現在の曲の再生が終わると、リンクした曲に切り換わります。

ご注意

●リンクプレイ以外の操作を行うと、リンクプレイでの選択結果が解除される場合があります（例：早送り／巻戻し）。

5 ロータリーコマンダーを操作して、アルバムまたは曲を選ぶ

➡「聞きたい曲をさがす」22ページ

オーディオブックの再生速度を変更する

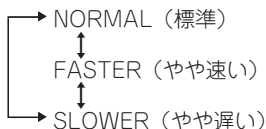
AUDIO BOOK

オーディオブックの再生速度を変更できます。

1 ロータリーコマンダーを操作して、AUDIO BOOKに切り換える

➡「ファンクションメニューの切り換えかた」24ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、AUDIO BOOKを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンダーを回して、設定を切り換える

次の順序で切り換わります。

NORMAL（標準）
↕
FASTER（やや速い）
↕
SLOWER（やや遅い）

4 ロータリーコマンダーを押して、設定を決定する

メモ

●ロータリーコマンダーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

オーディオ調節メニューの切り換えかた

「前後左右の音量バランスを調節する」などの音質調節機能を使うときは、オーディオ調節メニューで操作します。

1 ロータリーコマンダーを押して､メインメニューを表示する

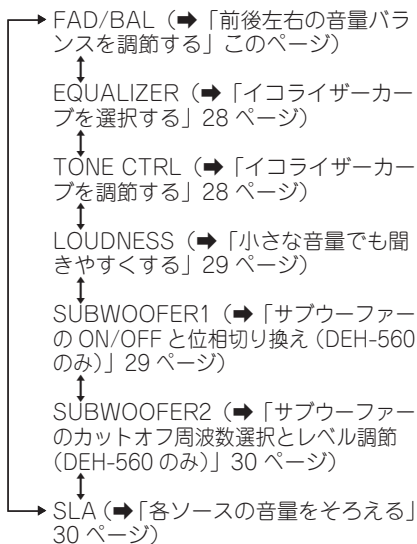
2 ロータリーコマンダーを回して、AUDIOを選ぶ

3 ロータリーコマンダーを押して、オーディオ調節メニューを表示する

4 ロータリーコマンダーを回して、機能を切り換える

次の順序で機能が切り換わります。

FAD/BAL（➡「前後左右の音量バランスを調節する」このページ）
↕
EQUALIZER（➡「イコライザーカーブを選択する」28 ページ）
↕
TONE CTRL（➡「イコライザーカーブを調節する」28 ページ）
↕
LOUDNESS（➡「小さな音量でも聞きやすくする」29 ページ）
↕
SUBWOOFER1（➡「サブウーファーの ON/OFF と位相切り換え（DEH-560 のみ）」29 ページ）
↕
SUBWOOFER2（➡「サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節（DEH-560 のみ）」30 ページ）
↕
SLA（➡「各ソースの音量をそろえる」30 ページ）

メモ

- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC を押します（30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります）。
- ラジオの FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。
- SUBWOOFER1 および SUBWOOFER2 は、DEH-560 のみ切り換わります。

前後左右の音量バランスを調節する

FAD/BAL

前後左右のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

1 ロータリーコマンダーを操作して、FAD/BALに切り換える

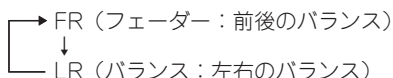
➡「オーディオ調節メニューの切り換えかた」このページ

2 ロータリーコマンダーを押して、FAD/BALを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンダーを押して、設定内容を切り換える

次の順序で切り換わります。

FR（フェーダー：前後のバランス）
↓
LR（バランス：左右のバランス）

4 ロータリーコマンダーを回して、音量バランスを調節する

■前後を調節するとき

前を強める：
　手順 3 で FR を選び、右に回す
後ろを強める：
　手順 3 で FR を選び、左に回す

前後のバランスは、F15 ～ R15 の範囲で調節できます。

■左右を調節するとき

右を強める：
　手順 3 で LR を選び、右に回す
左を強める：
　手順 3 で LR を選び、左に回す

左右のバランスは、L15 ～ R15 の範囲で調節できます。

5 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

ご注意

●SW CONTROL（→ 32 ページ）を「SW」に設定しているときは、左右のバランスのみ調節できます。

イコライザーカーブを選択する

EQUALIZER

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、好みの音質にできます。

1 ロータリーコマンダーを操作して、EQUALIZERに切り換える

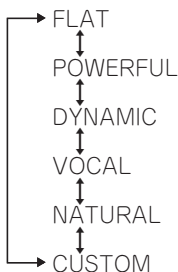
➡「オーディオ調節メニューの切り換えかた」27 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、EQUALIZERを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンダーを回して、イコライザーカーブを切り換える

次の順序で切り換わります。

FLAT ↕ POWERFUL ↕ DYNAMIC ↕ VOCAL ↕ NATURAL ↕ CUSTOM（CUSTOM ↔ FLAT）

メモ

●FLAT は、イコライザーによる音の補正がされていません。

4 ロータリーコマンダーを押して、設定を決定する

メモ

●ロータリーコマンダーを押す前に、オーディオメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

イコライザーカーブを調節する

TONE CTRL

あらかじめ用意されたイコライザーカーブに補正を加えることができます。これにより、よりお好みにあった音質を作り出すことができます。設定したイコライザーカーブは、自動的に“CUSTOM”カーブに登録されます。

1 ロータリーコマンダーを操作して、TONE CTRLに切り換える

➡「オーディオ調節メニューの切り換えかた」27 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、TONE CTRLを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンダーを押して、設定する音域を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。

BASS（低音域）→ MID（中音域）→ TREBLE（高音域）→ BASS（低音域）

4 ロータリーコマンダーを回して、レベルを調節する

レベルを大きくする：右に回す
レベルを小さくする：左に回す

レベルは、－6～＋6 の範囲で調節できます。

5 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

小さな音量でも聞きやすくする

LOUDNESS

小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不足しているように感じることがあります。ラウドネスを使うと、この不足感を補って、音を聞きやすくすることができます。

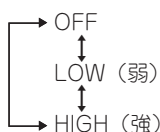
1 ロータリーコマンダーを操作して、LOUDNESSに切り換える

➡「オーディオ調節メニューの切り換えかた」27 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、LOUDNESSを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンダーを回して、ラウドネスの効果を切り換える

次の順序で切り換わります。

4 ロータリーコマンダーを押して、設定を決定する

メモ

- ロータリーコマンダーを押す前に、オーディオ調節メニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

サブウーファーの ON ／ OFF と位相切り換え（DEH-560 のみ）

SUBWOOFER1

本機にサブウーファーを接続して使用する場合は、サブウーファーの設定を ON にする必要があります。ON にしたあと、サブウーファーから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えてください。

位相切り換えとは

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント／リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転（干渉）し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。

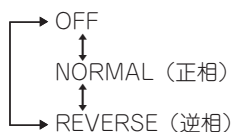
  正相：サブウーファーの音が、フロント／リアスピーカーと同時に出力される

  逆相：サブウーファーの音が、フロント／リアスピーカーとタイミングをずらして出力される

1 ロータリーコマンダーを操作して、SUBWOOFER1に切り換える

➡「オーディオ調節メニューの切り換えかた」27 ページ

2 ロータリーコマンダーを回して、サブウーファーの位相を選ぶ

次の順序で切り換わります。

3 ロータリーコマンダーを押して、設定を決定する

メモ

- ロータリーコマンダーを押す前に、オーディオ調節メニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節（DEH-560 のみ）

SUBWOOFER2

サブウーファーから出力される低音域（カットオフ周波数）と出力レベルを設定します。他のスピーカーから出力される音とのつながりが自然になるように設定してください。

カットオフ周波数とは

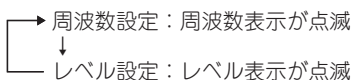
- 選んだ周波数よりも上の周波数（もしくは下の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファーのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調させることもできます。

1 ロータリーコマンダーを操作して、SUBWOOFER2に切り換える

➡「オーディオ調節メニューの切り換えかた」27 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、設定内容を切り換える

次の順序で切り換わります。

周波数設定：周波数表示が点滅
↓
レベル設定：レベル表示が点滅

3 ロータリーコマンダーを回して、サブウーファー調整をする

■周波数設定を調節するとき

高い周波数を選ぶとき：右に回す
低い周波数を選ぶとき：左に回す

カットオフ周波数は、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hz の中から選べます。

■レベルを調節するとき

レベルを大きくするとき：右に回す
レベルを小さくするとき：左に回す

レベルは、－ 24 ～＋ 6 の範囲で調節できます。

4 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

各ソースの音量をそろえる

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違うことがあります。SLA を使うと、FM の音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。

SLA とは

- SLA は、「Source Level Adjuster（ソースレベル アジャスター）」の略です。

1 ロータリーコマンダーを操作して、SLAに切り換える

➡「オーディオ調節メニューの切り換えかた」27 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、SLAを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンダーを回して、レベルを調節する

レベルを大きくする：右に回す
レベルを小さくする：左に回す

レベルは－ 4 ～＋ 4 の範囲で設定できます。

4 ロータリーコマンダーを押して、設定を決定する

メモ

- ロータリーコマンダーを押す前に、オーディオ調節メニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 BAND/ESCを押して、ふだんの再生画面に戻る

初期設定メニューの切り換えかた

「時計を合わせる」などの機能は、初期設定メニューで操作します。初期設定メニューは、電源をOFFにした状態で操作します。

1 SRC/OFFを長く押して、本機の電源をOFFにする

2 ロータリーコマンダーを長く押して、初期設定メニューに切り換える

初期設定メニューに切り換わると、「CLOCK SET」と表示されます。

3 ロータリーコマンダーを回して、機能を切り換える

次の順序で切り換わります。

CLOCK SET（➡「時計を合わせる」このページ）
↕
AUX（➡「外部機器（AUX）の音声を聞けるようにする」このページ）
↕
USB（➡「USB/iPodソースの切り換え方法を設定する」32ページ）
↕
SW CONTROL（➡「RCA出力から出力される信号を選ぶ」32ページ）
↕
SCROLL（➡「スクロールの設定を切り換える」32ページ）

メモ

- 初期設定メニューを解除するときは、BAND/ESCを押します（初期設定メニューを解除すると、電源がOFFになります）。
- SW CONTROLは、DEH-560のみ切り換わります。

時計を合わせる

CLOCK SET

時計を表示するために、時計を合わせておきます。

1 ロータリーコマンダーを操作して、CLOCK SETにする

➡「初期設定メニューの切り換えかた」このページ

2 ロータリーコマンダーを押して、CLOCK SETを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンダーを押して、時と分を切り換える

4 ロータリーコマンダーを回して、時刻を合わせる

時刻を進める：右に回す
時刻を戻す： 左に回す

分を調整すると、0秒からカウントが始まります。

5 BAND/ESCを押して、初期設定メニューを解除する

電源がOFFになります。

外部機器（AUX）の音声を聞けるようにする

AUX

本機にポータブル音楽再生機器や、VTRなどの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。

外部機器を接続するには

- 本機に外部機器を接続するには、本機前面にあるAUX入力端子に、3.5 mm φステレオミニジャックを差し込みます。

1 ロータリーコマンダーを操作して、AUXにする

➡「初期設定メニューの切り換えかた」このページ

2 ロータリーコマンダーを押して､外部機器設定をONにする

もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/ESCを押して、初期設定メニューを解除する

電源が OFF になります。

メモ

●AUX は、初期状態で ON になっています。AUX を使用しない場合は、OFF にします。

USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する

USB

本機能の設定により、USB/iPod ソースの切り換え方が異なります。

・ON：USB/iPod を接続すると、USB/iPod ソースに切り換わります。取り外すと、電源 OFF になります。

・OFF：USB/iPod を接続しても、USB/iPod ソースに自動では切り換わりません。USB/iPod ソースには手動で切り換えてください。

1 ロータリーコマンダーを操作して、USBに切り換える

➡「初期設定メニューの切り換えかた」31 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、USB/iPodソース自動切り換え設定をONにする

もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/ESCを押して、初期設定メニューを解除する

電源が OFF になります。

RCA 出力から出力される信号を選ぶ（DEH-560のみ）

SW CONTROL

本機の RCA 出力端子に外部アンプを接続し、フルレンジスピーカーまたはサブウーファーを使用できます。接続するスピーカーに合わせて、RCA 外部出力端子から出力される信号を選びます。

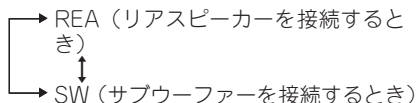
1 ロータリーコマンダーを操作して、SW CONTROLに切り換える

➡「初期設定メニューの切り換えかた」31 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、SW CONTROLを選ぶ

3 ロータリーコマンダーを回して、設定を切り換える

次の順序で切り換わります。

REA（リアスピーカーを接続するとき）
↕
SW（サブウーファーを接続するとき）

4 BAND/ESCを押して、初期設定メニューを解除する

電源が OFF になります。

スクロールの設定を切り換える

SCROLL

連続スクロール設定を ON にすると、CD のタイトルなどを連続してスクロールするようになります。スクロールを一度だけにしたいときは、この機能を OFF にします。

1 ロータリーコマンダーを操作して、SCROLLにする

➡「初期設定メニューの切り換えかた」31 ページ

2 ロータリーコマンダーを押して、連続スクロール設定をONにする

もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/ESCを押して、初期設定メニューを解除する

電源が OFF になります。

交通情報を受信する

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。交通情報は、電源 OFF のときでも、どのソースからでも受信できます。

1 TI/◴を押して、交通情報を受信する

もう一度押すと、交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 ◄ または ► ボタンを押す

交通情報の周波数を切り換えます。

1 620 kHz を選ぶとき： ◄ を押す
1 629 kHz を選ぶとき： ► を押す

メモ

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

時計を表示する

本機のディスプレイに、時計を表示できます。時計は、本機の電源が ON のときも OFF のときも表示させることができます。

時計について

- 時計を合わせるには（➡「時計を合わせる」31 ページ）

1 TI/◴を長く押して、時計を表示する

もう一度長く押すと、時計表示が解除されます。

メモ

- 本機の電源が ON のときは、時計表示中にほかの操作をすると、時計表示は一度解除されます。この場合、25 秒後に時計表示に戻ります。

イルミネーションカラーを選ぶ（DEH-560 のみ）

ILLUMI

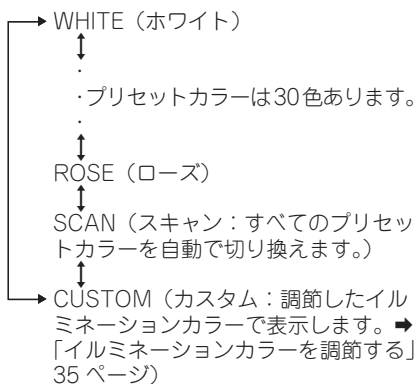
あらかじめ用意されたいろいろな色の中から、本機のイルミネーションカラーに設定したい色を選びます。

1 ロータリーコマンダーを押して、メインメニューを表示する

2 ロータリーコマンダーを回して、ILLUMIを選ぶ

3 ロータリーコマンダーを押して、イルミネーションメニューを表示する

4 ロータリーコマンダーを回して、イルミネーションカラーを切り換える

次の順序で切り換わります。

イルミネーションカラーを調節する（DEH-560のみ）

イルミネーションカラーをお好みの色に調節します。

1 ロータリーコマンダーを押して、メインメニューを表示する

2 ロータリーコマンダーを回して、ILLUMIを選ぶ

3 ロータリーコマンダーを押して、イルミネーションメニューを表示する

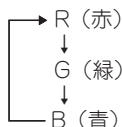
4 ロータリーコマンダーを回して、プリセットカラーかCUSTOMを選ぶ

メモ

- SCANを選んでいるときは、イルミネーションカラーの調節はできません。

5 ロータリーコマンダーを長く押して、イルミネーションカラー調節をはじめる

6 ロータリーコマンダーを押して、R・G・Bから色を選ぶ

押すたびに次の順序で切り換わります。

7 ロータリーコマンダーを回して、明るさを調節する

レベルを大きくする：右に回す
レベルを小さくする：左に回す

レベルは、0～60の範囲で調節できます。

メモ

- 他の色も同じ操作で調節できます。
- R（赤）とG（緑）およびB（青）を同時に10以下のレベルにすることはできません。

8 ロータリーコマンダーを長く押して、イルミネーションカラー調節を解除する

「CUSTOM」と表示されます。

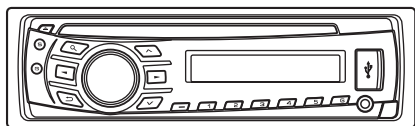
●接続・取り付け上のご注意

●車への取り付けは、必ず本書と、別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

●別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続・取り付け部品を確認する

●本体関係

本体 × 1

トラスネジ（5 mm × 8 mm）× 4

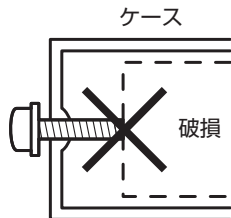
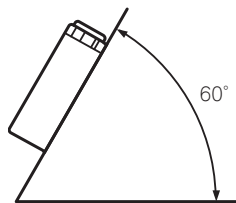
皿ネジ（5 mm × 9 mm）× 4

●コード関係

電源コード × 1

取り付けの前に知ってほしいこと

●取り付け上のご注意

●必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。

●本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して 60 度以内の角度で取り付けてください。

●取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

●まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

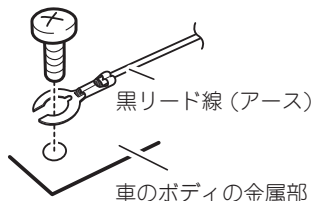
取付キットを別売しています

●車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。

●ダッシュボード下へ取り付ける場合は、D サイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

接続の前に知ってほしいこと

●接続上のご注意

●本機の黒リード線 (アース) を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。

●赤リード線（アクセサリー電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。**接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。**

●本機のアンプには BPTL という回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（－）リード線を、共通にして接続したりしないでください。

●本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 50W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ωから 8 Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。

●黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。

●ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオが ON にならないと、ブースターが ON にならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

●接続のポイント

ノイズ防止のために

●アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

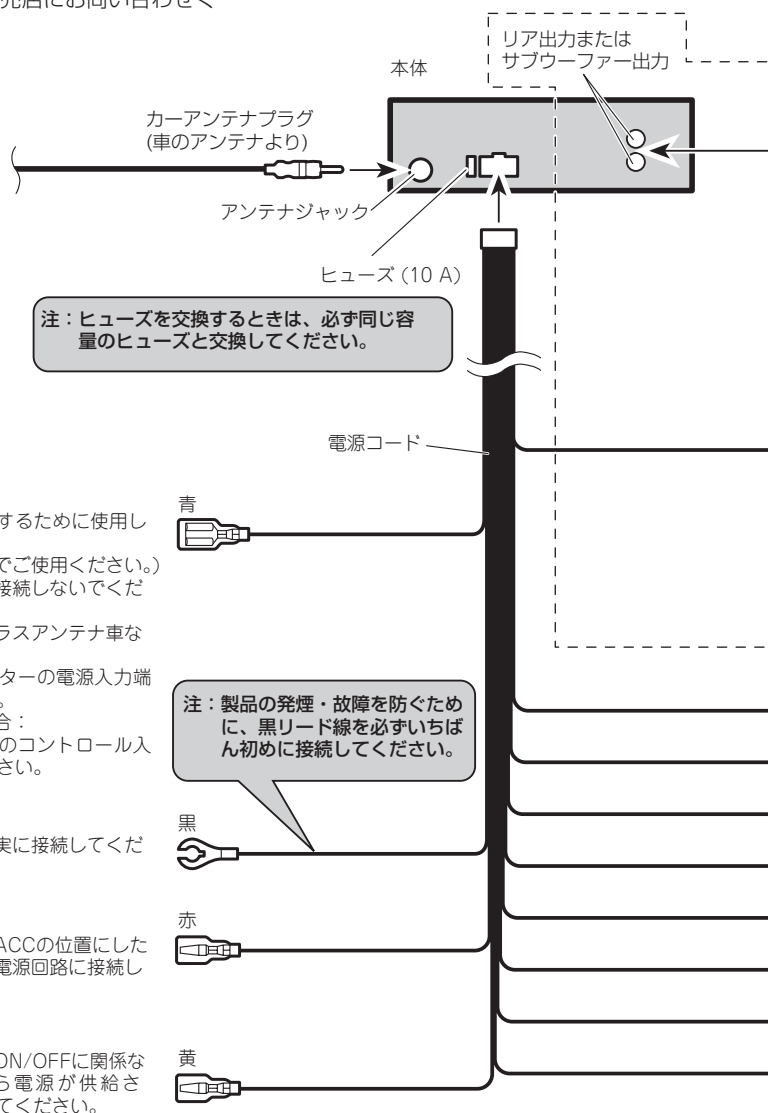
電源配線キットを別売しています

●システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

●バッテリー交換時のご注意

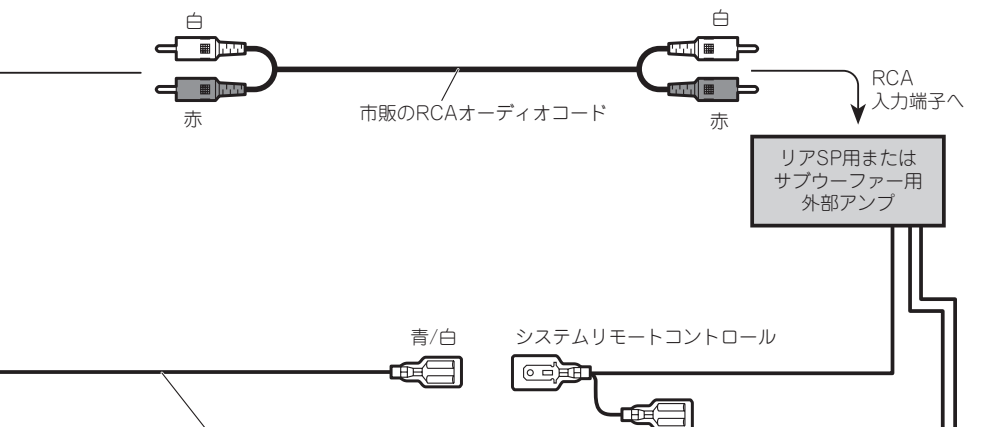
●車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調節などの設定内容は消去されてしまいます。
ラジオのプリセットメモリー（➡「放送局を 1 局ずつ登録する」19 ページ）や時計調節（➡「時計を合わせる」31 ページ）を再設定してください。
オーディオ調節の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

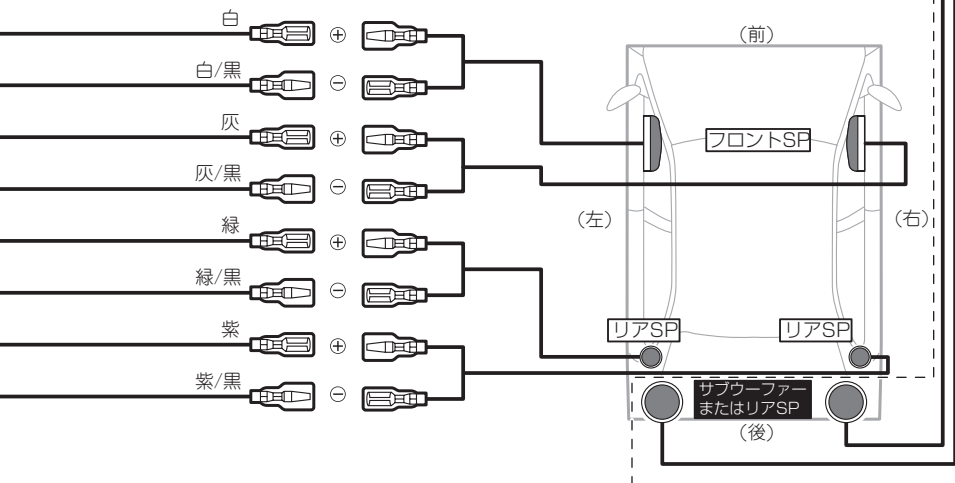
接続する

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

アンテナコントロール
アンテナをコントロールするために使用します。
(12 V DC､300 mA以内でご使用ください。)
下記以外の場合は、何も接続しないでください。
●ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合：
車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。
●オートアンテナ車の場合：
車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。

アース
車のボディの金属部に確実に接続してください。

アクセサリー電源
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

＋バッテリー電源
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：赤、黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

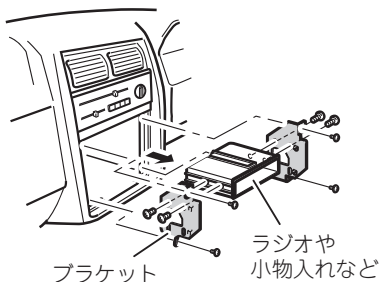
接続・取り付けと動作確認

注：・スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。
・RCA出力に接続するスピーカーに合わせてSW CONTROL（→32ページ）の設定を切り替えてください。（DEH-560のみ）

本体を取り付ける

取り付け例（トヨタ車、日産車への取り付け）です。

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。

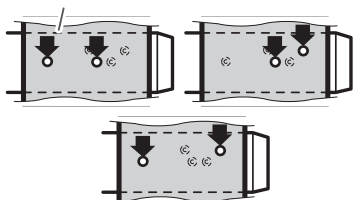
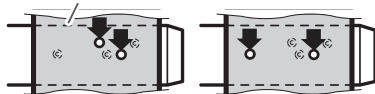
そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。

ご注意

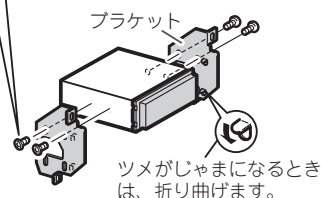
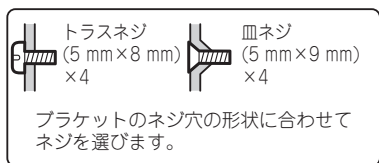
● 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

■トヨタ車の場合

■日産車の場合

3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ 2 カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。

フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

フロントパネルを取り外すことができます（デタッチャブル機構）。操作方法は (➡ 6 ページ)

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

- 接続･取り付けに誤りがないか、各コネクターは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

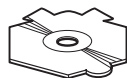
2 車のエンジンをかける

3 本機の動作を確認する

CDの正しい使いかた

●使用できるCDについて

- 次のマークが付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。

- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。

- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R／CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、CD-R／CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R／CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- ファイナライズされていないCD-R／CD-RWディスクには対応していません。
- CD-R／CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- 8 cmディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した8 cmディスクも絶対に使用しないでください。

●「DualDisc」の再生について

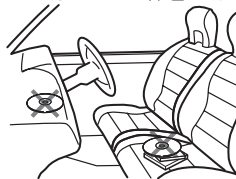
- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

●取り扱い上のご注意

- CDは、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

- CDにキズを付けないでください。
- CDにシールなどを貼らないでください。

●保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。

- CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

付録

●お手入れについて

- CD が汚れたときは、柔らかいきれいな布で CD の内周から外周方向へ軽くふいてください。

- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

●CD 再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後に CD 再生を始めると、本機内部の光学系レンズや CD に露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1 時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CD に付いた露は柔らかい布でふいてください。

 メモ

●製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

WMA ／ MP3 ／ WAV ファイルについて

●WMA とは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver. 7 以降を使用してエンコードできます。

 ご注意

●WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
●WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
●本機で画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

●再生できる WMA ファイルについて

ご注意

●WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.wma）を付けてください。
●本機は、拡張子（.wma）が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子（.wma）を付けないでください。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32 kHz ～ 48 kHz です。
- WMA ファイルは一般的に、ビットレートが高いほど音質が良くなります。本機は、CBR（固定ビットレート）で 48 kbps ～ 320 kbps、VBR（可変ビットレート）で 48 kbps ～ 384 kbps の WMA ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高いビットレートで記録することをおすすめします。
- デジタル著作権保護（DRM）で保護されたファイルは、再生がスキップされます。「SKIPPED」と表示されます。
- ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護（DRM）で保護されている場合、そのディスクは再生できません。「PROTECT」と表示されます。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
  - Windows Media Audio Professional（5.1ch）
  - Windows Media Audio Lossless（可逆圧縮）
  - Windows Media Audio Voice

●MP3 とは？

- 「MPEG Audio Layer-3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

次のページに続く

●再生できる MP3 ファイルについて

ご注意

●MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.mp3）を付けてください。
●本機は、拡張子（.mp3）が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子（.mp3）を付けないでください。

- ID3 tag の Ver. 1.0 ／ 1.1 ／ 2.2 ／ 2.3 ／ 2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver. 2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。
- サンプリング周波数が 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz の MP3 ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応します。なお、再生可能なサンプリング周波数は、16 kHz ～ 48 kHz です。
- MP3 ファイルは一般的に、ビットレートが高いほど音質が良くなります。本機は、CBR（固定ビットレート）では 8 kbps ～ 320 kbps の MP3 ファイルの再生に対応しています。また、VBR（可変ビットレート）の再生にも対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、128 kbps 以上のビットレートで記録することをおすすめします。

●WAV とは？

- 「Waveform」の略で、Windows® での標準音声フォーマットです。

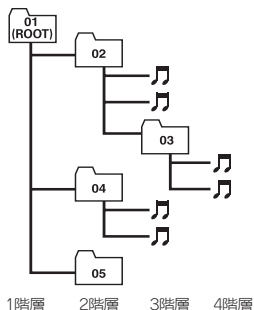
●再生できる WAV ファイルについて

ご注意

●WAV ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.wav）を付けてください。
●本機は、拡張子（.wav）が付いているファイルを WAV ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAV ファイル以外には拡張子（.wav）を付けないでください。

- 本機は、LPCM 形式および MS ADPCM 形式でエンコードされた WAV ファイルの再生に対応しています。
- 本機は、LPCM 形式では 16 kHz ～ 48kHz、MS ADPCM 形式では 22.05 kHz ～ 44.1 kHz のサンプリング周波数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- WAV ファイルは一般的に、量子化ビット数が高いほど音質が良くなります。本機は、LPCM 形式で 8 bit または 16 bit、MS ADPCM 形式で 4 bit の量子化ビット数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高い量子化ビット数で記録することをおすすめします。

ディスク内のフォルダーについて

- WMA ／ MP3 ／ WAV ファイルを収録した CD-R ／ CD-RW ／ CD-ROM のフォルダー構造は次の図のようになります。

- WMA ／ MP3 ／ WAV ファイルが記録された CD-R ／ CD-RW ／ CD-ROM の再生に対応しています。ISO9660 のレベル 1 ／レベル 2 ／拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i（MP3 interactive）フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。

- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて32文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は32文字です。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を指定できるものもあります。
- 曲間（トラック間）にブランクがないCDを、WMA／MP3／WAVファイルとしてCD-R／CD-RW／CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。
- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- CD-R／CD-RW／CD-EXTRA／MIXED-MODE CDディスクにWMA／MP3／WAVファイルと音楽データ（CD-DA）が混在しているときは、WMA／MP3／WAVファイルと音楽データ（CD-DA）を切り換えて再生できます（➡「CDのふだんの操作」10ページ）。この場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- WMA／MP3／WAVファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
- 8階層までのWMA／MP3／WAVファイルの再生に対応しています。ただし、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスクの作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- フォルダーの合計が99個までのディスクを再生できます。

USB機器について

- USBポータブルオーディオプレーヤーやUSB Mass Storage Class対応のUSBメモリーに収録されたWMA／MP3／WAVファイルを再生できます。

ご注意

●USB機器を本機に接続する際は、別売のUSBケーブル（例：CD-U51E）を使用してください。USBケーブルを使わずに直接接続すると、USB機器が突起物となり危険です。
指定のUSBケーブル以外は、使用しないでください

●接続するUSB機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。

●パーティションを作ったUSBメモリーは最初のパーティションのみ再生可能です。

●使用するUSB機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。

●USBハブを使用しての接続には対応していません。

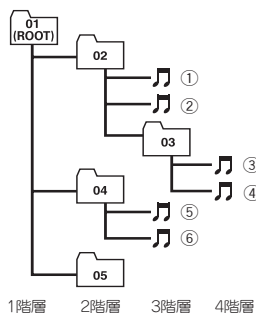
●USB機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

●本機と組み合わせて使用する場合、USB機器は必ず固定してください。USB機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

●USBメモリー、USBオーディオプレーヤー以外（USB扇風機など）は接続しないでください。

●USB機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。

USB機器内のフォルダーについて

- USBメモリー内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。USBポータブルオーディオプレーヤーの場合の構成は、プレーヤーによって異なります。

- 01～05はフォルダー番号の割り当て、①～⑥は曲の再生順の例です。ユーザーが本機でフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 圧縮オーディオファイルの再生の順序は、USBメモリーにコピーされた順番と同じです。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。

次のページに続く

① パソコンで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。

② それらのファイルをフォルダーに入れる。

③ フォルダー単位で USB メモリーにコピーする。

ただしパソコンの環境によっては、この方法で指定できない場合もあります。

- 再生できるファイルの合計は、最大 15 000 ファイルです。
- 再生できるフォルダーの合計は、最大 500 フォルダーです。
- 8 階層までの WMA ／ MP3 ／ WAV ファイルの再生に対応しています。
- USB 機器のフォルダー階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- 画像データを含む圧縮オーディオファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- m3u のプレイリストには対応していません。

付録

iPod について

●本機が対応する iPod

- 本機は以下の iPod に対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。
  - 第 5 世代 iPod nano：Ver. 1.0.1
  - 第 4 世代 iPod nano：Ver. 1.0.4
  - 第 3 世代 iPod nano：Ver. 1.1.3
  - 第 2 世代 iPod nano：Ver. 1.1.3
  - 第 1 世代 iPod nano：Ver. 1.3.1
  - 第 3 世代 iPod touch：Ver. 3.1.2
  - 第 2 世代 iPod touch：Ver. 3.1.2
  - 第 1 世代 iPod touch：Ver. 3.1.2
  - iPod classic 160G：Ver. 2.0.3
  - iPod classic 120G：Ver. 2.0.1
  - iPod classic：Ver. 1.1.2
  - 第 5 世代 iPod：Ver. 1.3
  - iPhone 3GS：Ver. 3.1.2
  - iPhone 3G：Ver. 3.1.2
- 最新の情報についてはカロッツェリアホームページ（http://carrozzeria.jp）をご覧ください。
- 操作方法は、iPod の世代やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
- iPod を接続するには、iPod 用 USB 変換ケーブル（例：CD-IU50）が必要です。

ご注意

●iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

●iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

●本機と組み合わせて使用する場合、iPod は必ず固定してください。iPod が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

●iPod の取り扱いについて詳しくは、iPod の説明書をお読みください。

●iPod の設定について

- 音質効果を最適にするために、iPod が接続されると、本機は iPod の EQ の設定を自動的に「FLAT」に変更します。取り外すと、設定は自動的に元に戻ります。
- iPod を本機に接続している場合、CTRL iPod モード中以外では、iPod のリピートは「オフ」に設定できません。また、iPod のリピートが「オフ」に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「すべて」に変更されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」をお読みになり、修理を依頼してください。

●共通項目

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 車両のバッテリーのマイナス端子を外して、1 分後再接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節してください（➡「基本的な操作」10 ページ）。
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください（➡「前後左右の音量バランスを調節する」27 ページ）。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください（➡「前後左右の音量バランスを調節する」27 ページ）。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください（➡「前後左右の音量バランスを調節する」27 ページ）。
本機が誤動作する。 雑音が入る。	携帯電話などの電波発信機器を本機に近づけて使用している。	電波発信機器を本機から離してご使用ください。

●ラジオ

症　状	原　因	処　置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください（➡「ラジオのふだんの操作」11 ページ）。
	放送局の電波が弱い。	ほかの放送局を選局してみてください（➡「ラジオのふだんの操作」11 ページ）。
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください（➡「ラジオのふだんの操作」11 ページ）。

●CD、WMA ／ MP3 ／ WAV

症　状	原　因	処　置
CD 再生中、大きな雑音が出る。 CD の再生が途中で止まる。 CD が自動的に出てくる。	CD に大きなキズやそりがある。	CD を交換してください。 良くなれば、CD の不良です。
	CD が極端に汚れている。	CD の汚れをふき取ってください（➡「CD の正しい使いかた」42 ページ）。
	CD に曇りや汚れがついている。	CD の曇りや汚れをふき取ってください（➡「CD の正しい使いかた」42 ページ）。
	CD の裏表を逆にしてセットしている。	CD のタイトル面を上にしてセットしてください。

次のページに続く

●AUX

症　状	原　因	処　置
音が出ない。 音が小さい。	外部機器（AUX）の音量を下げている。	外部機器（AUX）の音量を調節してください。
	抵抗入り AUX ケーブルを使用して接続している。	抵抗なし AUX ケーブルを使用して接続してください。

こんなメッセージが表示されたら

正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

●CD、WMA ／ MP3 ／ WAV のエラー表示

メッセージ（エラー番号）	原　因	処　置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CD が汚れているとき。	CD の汚れをふき取ってください。
	CD にキズやひびがあるとき。	CD を交換してください。
「ERROR-15」	CD-R ／ CD-RW を録音しないまま使用している。	CD-R ／ CD-RW は、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-15」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にするか、CD 再生を一度やめてから、もう一度 CD 再生にしてください。
「ERROR-23」	再生できないフォーマットの CD-ROM を挿入した。	CD を交換してください。
「NO AUDIO」	何も録音されていない CD-ROM を挿入した。	WMA ／ MP3 ／ WAV ファイルの記録されている CD-ROM と交換してください。
「PROTECT」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護（DRM）で保護されている。	CD を交換してください。
「SKIPPED」	デジタル著作権保護（DRM）で保護された WMA ファイルを再生した。	デジタル著作権保護（DRM）で保護されていないファイルを再生してください。

●USB のエラー表示

メッセージ（エラー番号）	原　因	処　置
「CHECK USB」	USB コネクターまたは USB ケーブルがショートした。	USB コネクター／ USB ケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。
	規定（➡「おもな仕様」52 ページ）以上の電流を消費する USB 機器を接続した。	接続した USB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にしてください。次に、対応する USB 機器を接続してください。
「N/A USB」	接続された USB 機器が本機に対応していない。	USB Mass Storage Class 対応の USB 機器を接続してください。
「NO AUDIO」	何も収録・保存されていない USB 機器を接続した。	対応する圧縮オーディオファイルが収録・保存された USB 機器を接続してください。
	セキュリティー機能付きの USB メモリーを接続した。	USB メモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。

メッセージ（エラー番号）	原　因	処　置
「PROTECT」	USB 機器内のすべての WMA ファイルが Windows Media DRM 9 ／ 10 で保護されている。	Windows Media DRM 9 ／ 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存した USB 機器を接続してください。
「SKIPPED」	Windows Media DRM 9 ／ 10 で保護された WMA ファイルを再生した。	Windows Media DRM 9 ／ 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを再生してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。	以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースをUSBに切り換えてください。車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON する。／接続した USB 機器を一度外してから接続する。／別のソースに切り換える。
「ERROR-23」	接続された USB 機器のフォーマットが、FAT32 ／ FAT16 か FAT12 ではない。	フォーマットが、FAT32 ／ FAT16 か FAT12 の USB 機器を接続してください。
「NO DEVICE」	USB/iPod ソース自動切り換え設定が OFF の場合に、USB 機器が接続されていない。	USB/iPod ソース自動切り換え設定を ON にしてください（➡「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」32 ページ）。
		対応する USB 機器を接続してください。

●iPod のエラー表示

メッセージ（エラー番号）	原　因	処　置
「CHECK USB」	iPod は動作するが、充電されない。	iPod ケーブルがショートしていないか（たとえば、金属物にはさまれていないか）確認してください。確認後、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にするか、iPod を一度脱着してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。 iPod に問題が発生した。	コネクターを一度外し、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクターを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
「ERROR-16」	iPod ソフトウェアのバージョンが古い。	iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。
	iPod に問題が発生した。	コネクターを一度外し、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクターを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
「NO SONGS」	iPod に曲が入っていない。	iPod に曲を転送してください。
「STOP」	選んだプレイリストに曲が入っていない。	曲が入っているプレイリストを選んでください。
「NO DEVICE」	USB/iPod ソース自動切り換え設定が OFF の場合に、iPod が接続されていない。	USB/iPod ソース自動切り換え設定を ON にしてください（➡「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」32 ページ）。
		対応する iPod を接続してください。

保証書とアフターサービス

●保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

●保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商標・著作権など

●WMA

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

●MP3

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ
http://www.mp3licensing.com
をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

●iTunes

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

●iPod & iPhone

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

おもな仕様

●共通部

使用電源：　DC 14.4 V （10.8 V ～ 15.1 V 使用可能）
アース方式：　マイナスアース方式
最大消費電流：　10.0 A
外形寸法
（取付寸法）：178（W）mm × 50（H）mm × 165（D）mm
（ノーズ寸法）：170（W）mm × 46（H）mm × 17（D）mm
質 量：　1.0 kg（コード含まず）

●アンプ／オーディオ部

最大出力：　50W × 4
定格出力：　22W × 4（50 Hz ～ 15 000 Hz、5 % THD）
負荷インピーダンス：　4 Ω（4 Ω～ 8 Ω 使用可能）
プリアウト最大出力レベル（DEH-560）：2.2 V
インピーダンス（DEH-560）：　1 k Ω
トーンコントロール
（バス）周波数：100 Hz
ゲイン：± 12 dB
（ミッド）周波数：1 kHz
ゲイン：± 12 dB
（トレブル）周波数：10 kHz
ゲイン：± 12 dB
サブウーファーアウトプット
（DEH-560）
周波数：50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz
スロープ：-18 dB/oct
調整幅：-24 ± 6 dB
位相：NORMAL / REVERSE

●CD プレーヤー部

形式：　コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク：　コンパクトディスク
信号フォーマット
サンプリング周波数：44.1 kHz
量子化ビット数：16 ビット直線
周波数特性：　5 Hz ～ 20 000 Hz（± 1 dB）
S/N 比：　94 dB（1 kHz）
（IHF-A ネットワーク）
ダイナミックレンジ：　92 dB（1 kHz）
チャンネル数：　2（ステレオ）
WMA デコーディングフォーマット：　Ver. 7、7.1、8、9、10、11、12
（2 ch audio）（Windows Media Player）
MP3 デコーディングフォーマット：　MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3
WAV シグナルフォーマット：　Linear-PCM、MS ADPCM

●USB 部

USB 規格：	USB 2.0 Full Speed
最大供給電流：	500 mA
USB クラス：	マスストレージクラス
ファイルシステム：	FAT12、FAT16、FAT32
WMA デコーディングフォーマット：	Ver. 7、7.1、8、9、10、11、12（2 ch audio）（Windows Media Player）
MP3 デコーディングフォーマット：	MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3
WAV シグナルフォーマット：	Linear-PCM、MS ADPCM

●FM チューナー部

受信周波数帯域：	76.0 MHz ～ 90.0 MHz
実用感度：	9 dBf（0.8 μ V/75 Ω、モノラル、S/N：30 dB）
S/N：	72 dB（IHF-A ネットワーク）
高調波歪率：	0.3 %（65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ）、 0.1 %（65 dBf 入力、1 kHz、モノラル）
周波数特性：	30 Hz ～ 15 000 Hz（± 3 dB）
ステレオセパレーション：	45 dB（65 dBf 入力、1 kHz）

●AM チューナー部

受信周波数帯域：	522 kHz ～ 1 629 kHz
実用感度：	25 μ V（S/N：20 dB）
S/N：	62 dB（IHF-A ネットワーク）

●付属品

コードユニット：	1
取付ネジ類：	1 式
取扱説明書：	1
安全上のご注意：	1
保証書：	1
ご相談窓口・修理窓口のご案内：	1

メモ

●上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>
「0120」で始まるフリーコールおよびフリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00　土曜　9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■ カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話　**0120-944-111**　【一般電話】**044-572-8101**

ファックス　**044-572-8103**

インターネットホームページ　*http://pioneer.jp/support/*

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「**故障かな?と思ったら**」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口（沖縄県を除く全国）

受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00　土曜　9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話　**0120-5-81028**（ゴーパイオニア）　【一般電話】**044-572-8100**

ファックス　**0120-5-81029**

インターネットホームページ　*http://pioneer.jp/support/repair.html*

※家庭用オーディオ／ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話　【一般電話】**098-987-1120**

ファックス **098-987-1121**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00　土曜　9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話　**0120-5-81095**　【一般電話】**044−572−8107**

ファックス　**0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.041

パイオニア株式会社

〒212-0031
神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<KFWZX> <10G00000> <CRA4386-C/N>